

生成AI向けラック型ドライクーラー

生成AIサーバとラック型ドライクーラーを1対1で接続でき、配管レスを実現

生成AIなどGPUを多数装着したサーバは発熱量が多く、空冷のみでの冷却は困難です。この発熱を処理するには、水を用いるコールドプレート(DLC)による冷却が必要となります。一般的には配管工事をして水を供給する必要がありますが、既設のビル型データセンターではラック列まで配管することは難しく、もし水が漏れた場合は階下漏水の危険性があります。生成AI向けラック型ドライクーラーは、生成AIサーバと1対1で接続でき、配管工事をなくすることが可能です。

- ▶ サーバルーム全体への水道管工事が不要
- ▶ 既存のデータセンターでも生成AIサーバの設置が可能
- ▶ 幅寸法が700mmのため大幅なレイアウト変更が不要
- ▶ PID制御やマニュアル操作もでき、外部制御が可能なコントローラを内蔵
- ▶ 製品本体に操作タッチパネルを搭載
- ▶ 低騒音で運転可能

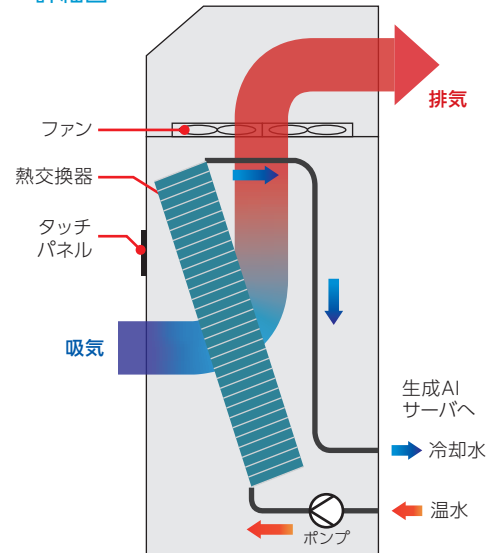


仕様

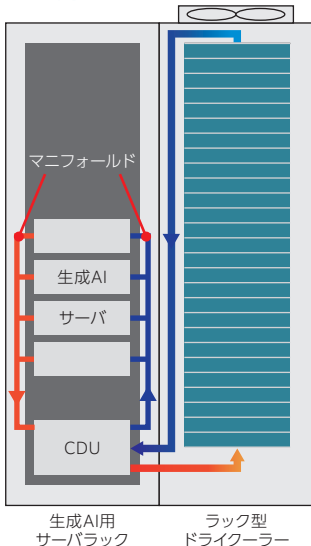
	高温側	低温側
流体種別	水	空気 (コールドアイル温度)
入口温度	40℃	25℃
出口温度	30.4℃	35.2℃
水流量	60L/min	12000m ³ /h
冷却熱量	40kW以上 ※1	
外形寸法(mm)	W700×D1200×H2350	
質量	約500kg(ファン含む)	
パイプ材質	Cu	
フィン材質	AL	
ファン仕様	DC48Vファン搭載	
消費電力	約5kW MAX ※2	
電源電圧	三相三線 AC200V	
制御システム	LOYTECコントローラにて差圧とΔtにより風量と流量制御 タッチパネルでマニュアル制御可能	

※1: コールドアイルの温度や流量、ファン風量で能力が変わります
 ※2: コールドアイルの温度と必要冷却によりファン電力やポンプ電力が変わります

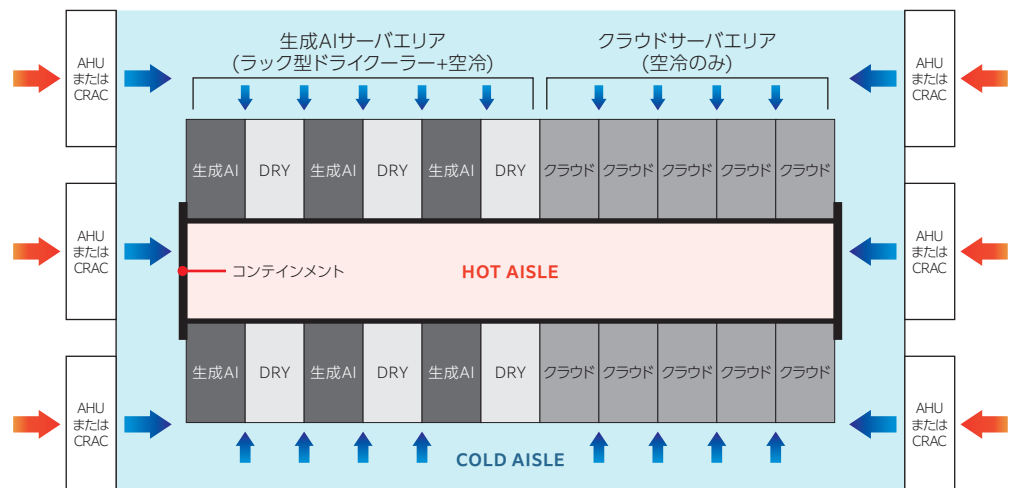
詳細図



設置例



データセンター内のラック型ドライクーラー設置例



コールドアイル・ホットアイル・コンテインメント

テレワーク・ソリューション

液浸システム

冷却機器

コンテナデータセンター

UPS

構築DCIM

給電システム

試験と分析支援

ラックソリューション

楽TOOLS